

岩滑小学校だより やかちの風



平成24年
3月23日
第199号

3月19日（月）、岩滑小学校卒業式を挙行了いたしました。今年は、男子44名、女子37名、合わせて81名の卒業生が、伝統ある岩滑小学校を巣立ちました。

今年度は、岩滑小移設100周年という記念すべき年でもあり、卒業生にとって忘れられない記念行事等も開催いたしました。校長式辞の中でもこのことについてふれさせていただきました。卒業証書授与では、小学校課程の修了を記した卒業証書を一人一人の顔を見ながら手渡しました。一人一人の顔を見ていると、今までのいろいろな事が頭に浮かんできました。

卒業生たちは、卒業記念制作として、南吉さんの詩の世界を壁画にしてくれました。

1組は「子どもはあそんでる」、2組は「ひよこ」、3組は「島」です。学校北側のコンクリート壁面に取り付けますので楽しみにしててください。



～校長式辞（抜粋・一部省略）～

今年の冬はいつもの年より、寒さが厳しく、雪もたくさん降りました。しかし、季節は巡り、冬の次には春が来ます。ふりそそぐ暖かい光の中、野山の風景にも春の優しさが感じられるようになりました。別れと出会いの春です。そして希望の春です。

岩滑小学校は今年度移設一〇〇周年を迎えました。皆さんはその記念すべき年に岩滑小学校の卒業生として中学校へ巣立ちます。八十一名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。

本日ここに、平成二十三年度、岩滑小学校卒業式を挙行するにあたり、半田市教育委員会主任指導主事、榊原康二様をはじめ、多くの来賓の方々にご臨席を賜りました。ご多用にもかかわらず、晴れの卒業式に、花を添えていただきましたことを、卒業生、職員と共に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

昨年の東日本大震災では多くの命が奪われ、壊滅的な打撃を受けました。その、東北地方にも二度目の春がやがて訪れます。改めて、一日も早い復興復旧と被災された皆さんの傷ついた



心が癒されることを心より願います。この大震災から、私たちは、生きることの大切さを学びました。命は永遠ではなく、限られたものです。夢と希望をかなえるために、生きている時間をどのように使えばよいのか、皆さんも考えてみてください。また、私たちは助け合い支え合うことの大切さを知りました。



卒業アルバムの表紙には「絆」という文字がはいっています。友達とのつながり、家族のつながり、あるいは地域とのつながり、どれも大切にしてください。絆を保つためにいちばん必要なことは思いやりの心です。相手を思いやる気持ちを常に忘れないでください。

こうして八十一名がそろうのも今日一日となりました。ある人は転居により遠くの中学校にかわります。また、ある人は自分の夢への第一歩として、違う中学校へ進学します。今年は例年になくその数が多いように思いますが、岩滑小学校の卒業生というつながりで結ばれています。



保護者の皆様に一言お祝いとお礼を申し上げます。このたびはお子さまのご卒業誠におめでとうございます。職員一同、大切なお子さまを預かり、精一杯努力してまいりましたが、保護者の皆様のご期待に応えられなかった面がたくさんありました。担任が年度途中で交代し、そのたびにご心配をおかけしました。また、落ち着いて学習できない状況もありました。申し訳ない気持ちでいっぱいです。そのよう



なときでも、学校に対する温かいご支援とご協力をいただきました。そして長年にわたり学校を支えていただきました。心より感謝申し上げます。落ち着いた状態で卒業させたい、よい状態で四月を迎えさせたい、そんな気持ちで指導に取り組んできました。三学期にはいると子どもたちの成長もあり、見違えるような姿にかわってきました。今日の卒業式でそれを実感されたと思います。夢

と希望に満ちた中学校生活が始まります。ご家庭での愛情が子どもたちの成長の支えになります。この先もよろしく願います。 ………

いよいよお別れの時が来ました。いつでも夢と希望を持ち、明るく明るく、前を向いて進んでいってください。健康にも十分注意してください。

皆さんの限りない可能性を信じ、中学校でのご活躍とご健康をお祈りし、式辞といたします。

～保護者の皆様・地域の皆様ありがとうございました～

保護者の皆様、地域の皆様、この1年間、どんなときも学校に対する温かいご支援とご協力で、学校を支えてくださいました。心より感謝申し上げます。

24年度も今年度同様、子どもたちの成長を温かく見守り、ご指導ください。

＜校長＞